



令和5年 冬号
発行 合志市企画課



合志市ホームページ



合志市公式
Twitter

「華やか」に「厳か」に 二十歳を祝う会



令和5年スタートして間もない1月8日、市総合体育館メインアリーナで、「令和五年 合志市二十歳を祝う会」を開催しました。

今年は、平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた752人が二十歳を迎えます。

式典は、二十歳を迎える人たちの代表による実行委員会が企画・運営しました。実行委員長を務めた松永乙夏^{まつなが 乙か}さんが誓いの言葉を述べ、「お互いの夢を応援し合い、一人一人が

輝かしい未来に向かって羽ばたいていくことを誓います」と、決意を新たにしていました。

会場の内外は、色とりどりの晴れ着や、スーツ姿の参加者で華やかな雰囲気。久しぶりに会った友人たちとスマートフォンで一緒に写真を撮ったり、中学校の恩師との再会し昔の話に花を咲かせたりする様子が見られました。

二十歳という人生の節目を迎えた皆さんは、喜びや感謝を胸に、新たな一歩を踏み出しました。





令和5年仕事始め式

1月4日、合志市役所で「仕事始め式」を行いました。荒木市長は幹部職員を前に、平成18年に2町合併で合志市が誕生したことに触れ、「合併時に思い描いた“まち”の実現に向けて原点回帰し、全職員をあげて取り組んでいきたい」と訓示しました。



思い思いに健脚競う カントリーマラソン大会開催

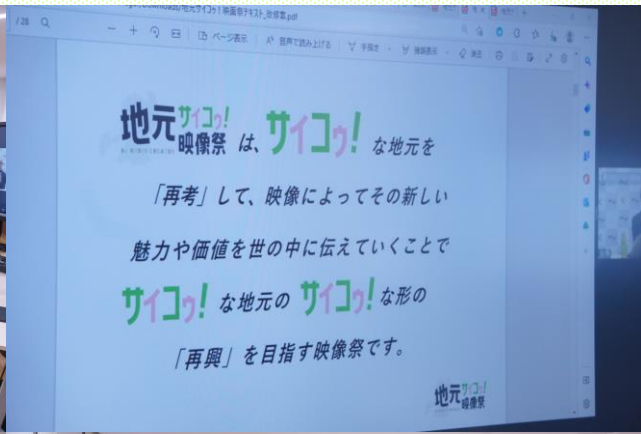
1月7日、県農業公園カントリーパークで、「第16回合志市民健康カントリーマラソン大会」を開催しました。参加したのは、大人から子どもまで幅広い年齢層の464人。真冬の空の下、小学校低学年から一般まで14の部門に分かれて、1キロから6キロのコースを駆け抜けました。また、参加者を対象に、3年ぶりにお楽しみ抽選会も行い、盛り上がりを見せていました。



慢性的な渋滞解消へ 実証実験を実施

1月27日、熊本県及び県内のバス運行会社5社で構成する「共同経営推進室」が、ノーマイカーデー実証実験を実施しました。

これは、セミコンテクパーク周辺道路の慢性的な渋滞解消に向けた検討をするためのもので、合志市では、朝と夕方以降の時間帯に熊本電鉄の須屋駅からの無料通勤バスが運行されたほか、アンビー熊本でのパークアンドライドが実施されました。



地元の魅力をアピール 「地元サイコウ！映像祭」

1月28日、合志市と市クリエイター塾は、「地元サイコウ！映像祭」の公開審査会を開催しました。

映像祭の目的は、日本中の各地域を映像の力で盛り上げること。全国のクリエイターが、それぞれの地元の特産品や観光地などを撮影・編集した、400点を超える作品の応募がありました。

審査会当日は、クリエイター塾の清水亮司塾長、^{しみず りょうし}「踊る大捜査線」シリーズの本広克行監督、^{もひろ かつゆき}動画投稿アプリ「TikTok」クリエイターのしんのすけさんの公式審査員3人と、オンラインを含む90人の一般審査員が、事前選考を通過した20作品を採点しました。

映像祭の詳しい情報や、当日審査した20作品は、「地元サイコウ！映像祭」のホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。



地元サイコウ！映像祭



合志市クリエイター塾



合志市の『食』と『まんが』がコラボ こうしめしプロジェクト お披露目

2月8日、合志市の魅力を発信する、「こうしめしプロジェクト」で考案した料理の試食会が開かれました。

このプロジェクトは、合志マンガミュージアムという観光交流資源をベースに、「食」と「まんが」をコラボレーションさせて、合志市の新たな観光コンテンツの創出を目指すものです。

当日は、プロジェクトで考案された、合志市の「赤大豆弁天味噌」とヨーグルトを使った鍋料理や、赤大豆のきなこを添えたゼリーなどを関係者が試食しました。

また、このプロジェクトで制作された、イラストが描かれた「漫画皿」が展示されたほか、SNSで発信するため、合志市内各地で撮影された動画も紹介されました。

「こうしめしプロジェクト」の詳しい情報は、ホームページ、インスタグラムをぜひご覧ください。



こうしめしホームページ



こうしめしInstagram





味よし 甘さよし
合志の小玉スイカ



1月30日、熊本県内でも早い時期とされる小玉スイカの出荷が、合志市野々島にあるJA菊池西宮農センターで始まりました。

JA菊池でスイカ栽培に取り組む「西瓜部会」は、63戸で構成され、大半が合志市の生産者。このうちの31戸が、小玉スイカの栽培に取り組んでいます。初出荷当日、選果場では、検査員がスイカを軽く叩いて空洞の有無を調べた後、機械で重さや糖度を測っていました。

生産者が農業ハウスに植え付けたのは昨年（令和4年）11月。年明けは日照不足などの厳しい条件となりましたが、例年通りの出来に。糖度は12度前後と高く、大玉スイカに

負けない美味しさです。

関東・関西方面に初出荷された小玉スイカは、2月2日に東京の青果市場で初競りにかけられ、1玉1000円から1600円で取引されました。6月中旬まで約18万玉の出荷が見込まれています。

合志市の「クラッシーノ・マルシェ」の店頭には、3月中旬から並び、通販サイトでも取り扱う予定です。



クラッシーノ・マルシェ

